



2023年9月26日
第35号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「2023年3月ダイヤ改正検証に関する 申し入れ」(申4号・川崎運輸区)

【共通】

1. 各駅の発車表示の統一を行うこと。快速停車駅には終着駅までの停車駅、待避駅、終着駅までの速達列車の案内を表示すること。快速通過駅には快速待ち合わせ駅を表示すること。
2. お客様のご利用が増加したことにより、下り川崎～鹿島田駅間の現状の運転時分では遅れが生じるので、同区間の運転時分を拡大すること。
3. 下り分倍河原～谷保間を20秒短縮し、谷保～立川間を20秒延長すること。
4. 上り立川～谷保間を10秒延長し、谷保～分倍河原間を20秒短縮、分倍河原～府中本町間を10秒延長すること。
5. 全体を通して、睡眠時間、食事時間を十分確保する行路を作成すること。
6. 休日の南武線のダイヤに余裕を持たせること。

【運転士】

1. 休日回505F、平日回637Fの武蔵中原駅停車を通過に改めること。
2. 日勤仕業の出区からの川崎～立川～川崎(いわゆる大回し)3回は解消すること。
3. 立川駅留置車両の運用を改め、立川運転区泊の行路の睡眠時間を拡大すること。(平平46、平休46、休平46)
4. 平846F～回947F川崎駅の停車時が4分40秒のため拡大すること。
5. 矢向引き上げ線出区は、安全上、解消すること。また今後、矢向・稲城長沼から回送で発車する運用の考えを明らかにすること。
6. 居流しにおける初日の退勤時刻から2日目の出勤時刻までのインターバルを拡大すること。
7. 52行路の立川運転区寢室に、他の部屋と同様の小物が置けるカラーボックスを設置すること。
8. 助士側ホームドア設置駅において、運転士により停止位置修正ができるよう、目標を設置すること。

【車掌】

1. 平間駅下りホームの停目を下げたことにより、車掌の位置から前方への視認性が悪く、屋根もないことから、屋根の延伸とITVの設置を行うこと。
2. 134行路と144行路の睡眠時間を拡大すること。
3. 128行路の平日の明けは、矢向～川崎～立川～武蔵中原と、武蔵中原～立川～川崎～武蔵中原とロングランのため、解消すること。
4. 平日133行路の1丁目と2丁目、2丁目と3丁目それぞれ乗り継ぎまでに33分間しかなく、休憩が満足に取れないため改善すること。
5. 平日116行路のロングランを解消するため、1526F武蔵中原16:07～1627F武蔵中原16:46を、平平141行路1738F武蔵中原17:06の1乗務前に移管されたい。
6. 休休139行路の睡眠時間を拡大するため、便636F登戸6:57～武蔵中原7:10を、便612F登戸7:17～武蔵中原7:29に変更されたい。
7. 休休143行路のロングランを解消するため、906F武蔵中原10:38～1007F武蔵中原11:13を、休108行路2乗務目前に移管し、1007F武蔵中原11:13着後は、所定通り1007F継続乗務とすること。

交渉日程は決まり次第、情報でお伝えします！